

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさアップ!

Version 3.2.0.6

バージョンアップ内容

○ SliceEdit 機能

スライス画像編集で、W/L 表示を可能にしました（従来は、原画像のみでした）。この変更により、スライス画像の編集がより容易になりました（図 1）。

○ 3D プリンタモードの追加

等値面生成時、3D プリンタ用ポリゴンデータを生成する機能を追加しました。従来の等値面によるポリゴンデータと比較して、3D プリンタ造形時のエラーが減少します。

○ 3D プリンタ用ポリゴンの編集

等値面生成時のポリゴンデータに対して、全自動クリーニング（自動穴埋め/反転/削除）の処理時間を 30 倍以上、高速化しました。

○ 全自動ボリュームレンダリング表示

CT、MRI、コーンビーム型 CT 画像に対して、自動で伝達関数を生成する機能を追加しました。本機能を用いることで、伝達関数マップを編集することなく、画面表示が可能となります（図 2）。

カスタマイズサービス

日常業務等でお悩みの場合、何でもご相談ください！

- ・ 画像処理フィルタの作成
- ・ 処理の自動化
- ・ パラメータ設定
- ・ プログラム開発
- ・ 3D プリンタ用造形モデル作成
- ・ CG/画像処理/WEB etc.

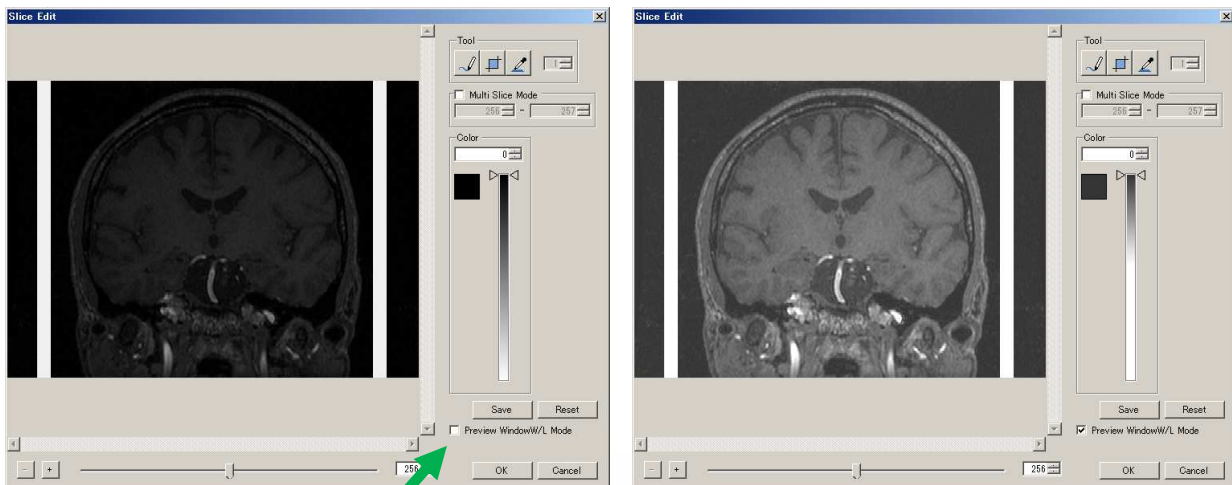
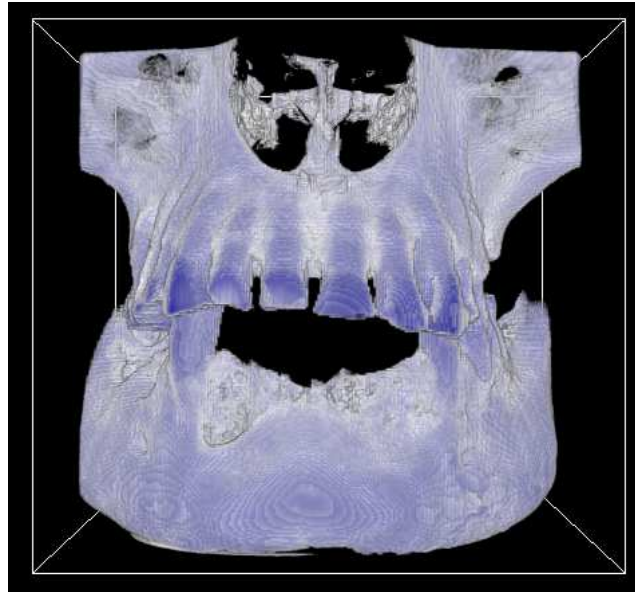


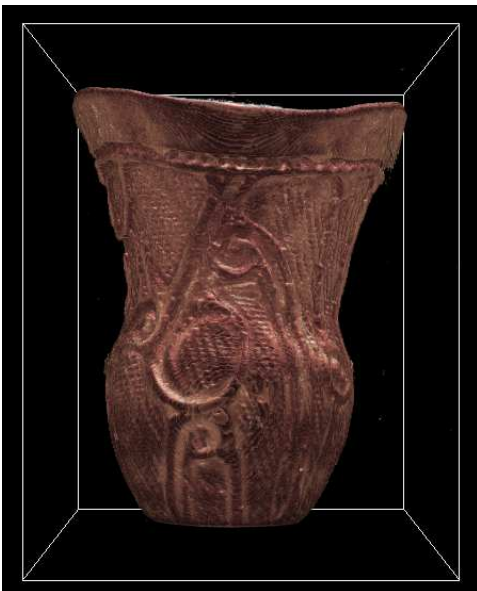
図 1 SliceEdit 機能 (W/L 機能の追加)



a) CT 画像



b) コーンビーム型 CT 画像



c) 工業用 CT 画像

図 2 全自動ボリュームレンダリング表示（伝達関数マップの自動生成機能の追加）